

鉄道のまち直方と鉄道文化財

直方のまちは嘉飯山地区と田川地区を底辺とする三角形の頂点に位置する立地条件から筑豊炭田の石炭輸送のため、広い構内に直方駅・直方機関区などの職場が集中し、全盛時には多数の職員が働いていました。

現在その面影はありませんが、直方駅周辺にはなお多数の鉄道文化財が残されていますので、二回に分けて紹介します。

二代目直方駅舎の車寄せ

明治四十三年一九一〇年に完成した二代目直方駅舎は、惜しまれながら約百年後の平成二十三年二〇一一年に解体されましたが、保管されていた玄関車寄せ部分が昨年六月に専門家の検討に基づき復原され、往時の駅舎の反対側に整備された直方駅前公園に設置されました。

三角屋根とギリシャの神殿のようなエンタシス様式の三本柱が特徴で、各種イベントの会場として活用されています。

初代直方駅舎の跡地



復原された二代目直方駅舎車寄せ
(駅前公園)

明治二十四年一八九一年に完成した初代直方駅舎は、現在の三代目駅舎と御館橋の中間点、マンションが建っている付近にあったと推定されています。

開業当初は筑豊興業鉄道でしたが明治二十七年に筑豊鉄道と社名変更、明治三十年に合併して九州鉄道に、明治四十年に国有化。戦後は日本国有鉄道から昭和六十二年一九八七年の分割民営化により九州旅客鉄道（JR九州）となりました。初代当時の痕跡や説明板はありませんが、小説の舞台となりました。異色の作家夢野久作の「犬神博士」での官憲側と玄洋社の両派が対決して大乱闘をする場所（明治二十五年一八九二年頃）。明治の文豪森鷗外の「小倉日記」

での人力車乗車拒否事件に遭遇する場所（明治三十二年一八九九年）。

明治時代の煉瓦造り倉庫

多賀神社の殿町側にある宝永の鳥居の右側に、赤煉瓦造りの倉庫があります。

文書記録はありませんが、同じような建築物が全国各地の駅に残されており、当時鉄道で使用されていたランプの油などを保管する危険物倉庫と推測されています。

九州鉄道の多賀神社への寄進石碑

宝永の鳥居の両側に明治三十年一八九七年の多賀神社への寄進石碑が並んでいて、左端に九州鉄道のものがあります。

九州鉄道は明治二十二年の設立後、明治四十年に国有化されるまで十八年の歴史しかなく貴重な石碑です。右が三菱合資、左が九州鉄道。



九州鉄道の多賀神社寄進石碑
(宝永の鳥居左側石碑の左端)

直方の歴史と文化

文 桝 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,218 人（－406） ■世帯数 27,303 世帯（＋57）
[うち外国人 591 人]

男 26,554 人（－208） 令和3年1月末現在
女 29,664 人（－198） () は前年同月との比較

<発行>直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号

URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>

<発行日>毎月1日(月1回)

<編集>秘書広報課秘書広報係

TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107

E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp

<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

インターネット
情報提供サービス

SNSやwebサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで